

Q コロナ後の市民生活をどう築く

おおた ただよし
太田 忠芳 議員



A 困窮する人々に対する支援の充実・強化を図る

問 新型コロナウイルス感染症により明らかとなった、子どもや女性などの市民生活の貧困と格差について、現時点での問題点と対策、今後の施策について。

庭に食料を届けた。今後も、子ども食堂や生活に困っている人々に食料を無料で配布するフードパントリーへの支援を充実していきたいと考えている。

答 公共施設の休館により、子どもの貧困対策としての子ども食堂なども休止となり、栄養バランスの偏りなどが懸念される。そのため本市では、県内の民間団体と連携して支援の必要な家

総務省が毎月行う労働力調査の昨年4月の結果によると、正規従業員は約4割を占め、そのうちの約7割が女性であり、年齢が高くなるにつれて割合も高くなっている。また、本年4



月の結果では、前年同月比で35歳から44歳の女性が28万人の減となっており、女性を取り巻く雇用情勢の悪化が懸念される。本市では、市役所各部署の窓口等において生活に困った方を把握した場合には、自立相談支援につなげるよう取り組み、本年4月からは、生活サポートセンターにアウトリーチ支援員を配置して、支援体制の強化を図った。

Q 次期、整備予定の都市計画道路について

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A 将来の鶴ヶ島を見通し、優先順位が高い路線から行う



都市計画道路 鶴ヶ島日高線予定地

問 本市の道路ネットワークの考え方は。

定した。

答 都市における諸活動の活性化を促進するために、都市間や市内の市街地を結び、周辺都市との連携強化や土地利用促進、都市防災の向上に資する幹線道路網の形成に努めている。

問 今後の整備計画は。

答 優先順位が高い路線について、事業着手に向けた準備を進める。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大による市の財政への影響を踏まえ、事業の時期や規模を十分に検討する必要がある。

問 決定に至った理由は。

答 未整備路線の現状や課題を整理し、評価を踏まえた整備の優先順位を決定するに至った。

問 共栄鶴ヶ丘線、日高川越鶴ヶ島線及び鶴ヶ島日高線以外の他の路線の整備計画について。

答 最も重要な決定要因は、対象路線の整備効果に対する重要性及び整備の早期実現性の大きく二つの観点から設定した評価指標により、採点した合計点数の高い順に優先順位を決

答 整備主体が埼玉県のものなど、本市のみでは判断をしい路線は、関係する主体と必要に応じた調整を図っていく。